



日進市 防災対策マップ

大規模災害に備えて

近年、南海トラフ地震の発生が懸念され、ゲリラ豪雨や台風などによる風水害や土砂災害も各地で発生しています。このような災害に被害を最小限にするため、市民一人ひとりが災害に備えるとともに、いざという時に適切な行動がとれるよう、「日進市防災対策マップ」を作成しました。



日進市の四季の風景

マップの構成

おもて うら

防災関係機関、避難場所等の位置情報が掲載されていますが、ここにわが家の最寄り避難所や避難ルートを書き込んでおくことで便利ですよ。

表紙

1～2 災害に備えよう

3 災害情報を入手しましょう

4 わが家の防災メモ

5 災害情報を入手しましょう

6 南海トラフ地震の震度予測

地震が発生したら...

災害への備え⇒災害情報の入手⇒平成26年5月に愛知県が公表した南海トラフ地震の震度予測情報⇒災害発生時の行動等の順に掲載しています。

わが家の防災メモ

家族との連絡先

家族の名前	生年月日	会社名・学校名など	電話番号	血液型

緊急連絡先

連絡先	電話番号	連絡先	電話番号
日進市役所	0561-73-7111	愛知中部水道企業団(上水道)	0561-38-0030
保健センター(救護所)	0561-72-0770	中部電力パワーグリッド(株) 天白営業所	0120-929-479
市民会館(救護物資受付所)	0561-72-0955	東邦ガスネットワーク(お客様サポート)	052-872-9238
中央福祉センター(ボランティア受付所)	0561-73-4885	西日本電信電話(株)	113
日進消防署	0561-73-0119		
愛知警察署	0561-39-0110		
名古屋鉄道(株) 豊田市駅	0565-32-0336		
名古屋市交通局地下鉄赤池駅	052-802-2264		

わが家の約束事を書き込んでみよう

避難場所や避難所... その他(子どもの引き渡し方法など)...

避難ルート... (気をつけること等)

災害用伝言ダイヤル(171)の使い方

災害用伝言ダイヤルは、災害の発生により電話がつかないに限り状況になった場合に開始される「声の伝言板」です。サービスの開始は、テレビやラジオなどで広報されます。体験利用することができますので、使い慣れておくとういでしょう。

体験利用提供日 毎月1日及び15日

正月三日：1月1日～3日
防災とボランティア週間：1月15日～21日
防災週間：8月30日～9月5日

どなたでもご利用できます。(事前契約等は不要です。) 音声案内に従ってボタンを押してください。

30秒以内

伝言するときは 1 () -

伝言を聞くときは 2 () -

30秒以内

災害用伝言ダイヤルに関する問合せ：NTT 西日本 名古屋支店 116

災害に備えよう(1) 災害への備え

災害は、基本的にいつどこで起こるか分かりません。いざというときに慌てないように、**実際に災害が発生したときのことを想定して、日頃から備えておきましょう。**

■ 地震に備える

日進市では地震発生による津波被害の心配はありませんが、経験したことのない激しい揺れに見舞われる可能性があります。

家の内外の安全対策

高い場所に物を置かない 家具配置の配慮・転倒防止 飛散防止フィルムを貼る

寝室に懐中電灯やスリッパを置く 安全に避難できるように出入口や通路に物を置かない 感震ブレイカーの設置

分電盤タイプ(後付型) ブロック網の点検

家具転倒防止事業 感震ブレイカー設置事業 木造住宅の無料耐震診断・耐震改修費補助事業

【地震に関する主な補助事業】
お住まいの耐震診断や感震ブレイカー設置補助など地震発生に備えた様々な補助事業を行っています。詳細はQRコードをご覧ください。

■ 風水害・土砂災害に備える

大雨や台風などによって起こる風水害は、事前に情報を得ることで、襲来時期や規模をある程度予測することができます。

雨どいや排水溝のつまりを取り除く 気象情報に注意し早めに避難の準備 プロック網にひび割れや破損箇所はないか点検

落ちつきそうな木の枝を伐る 植木鉢など屋内へ移す 浸水や土砂の流出に備え、土のうを準備 断水に備え湯船に満タンの水を貯める 雨戸やシャッターをおろしカーテンを閉める、飛散防止フィルムを貼る

■ 災害時要援護者地域支援制度

大規模な災害が発生した時、自力での避難が困難な人やひとり暮らしの高齢者が、地域の中で安否確認、避難誘導等の支援を受けることができるようになります。地域の災害対策委員会です。

災害時要援護者の範囲

① 65歳以上のひとり暮らしの人 ② 65歳以上のみの世帯の人 ③ 要介護状態区分3から5の人 ※在宅の人が対象です。
④ 第一身体障がい者 ⑤ 療育手帳を持っている人 ⑥ その他避難に支援が必要な人

登録方法・登録申請書に必要事項を記入の上、地域福祉課、または防災安全課に提出

■ あなたの手助けが必要です

大規模な災害が発生すると、市内各地で人が出たり、家屋が倒壊あるいは浸水したり、火災が発生する可能性があります。自らの安全を確保し、隣近所でも声をかけ合った後、できれば困っている人たを周りを周りに人たとともに助け合しましょう。

また、日頃からコミュニケーションを大切に、地域の防災訓練に積極的に参加しましょう。

災害に備えよう(2) 備蓄と非常持出品を用意しておきましょう

地震等の大規模な災害や、感染症の発生時には、食料供給の減少や食料品・生活用品の需要が一時的に集中し、品薄状態や売り切れ状態になるおそれがあります。電気、ガス、水道が止まることを想定して、家庭での備蓄を行います。一週間程度(最低でも3日分)の準備はしておきましょう。

家庭にストックしておく災害用品例		感染症対策用品	
<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> ガムテープ	<input type="checkbox"/> 家族の写真	<input type="checkbox"/> マスク
<input type="checkbox"/> 食料品	<input type="checkbox"/> ボリタンク	<input type="checkbox"/> 下着・靴下	<input type="checkbox"/> 消毒液
<input type="checkbox"/> カセットコンロ	<input type="checkbox"/> 毛布	<input type="checkbox"/> オムツ	<input type="checkbox"/> 体温計
<input type="checkbox"/> カセットパン	<input type="checkbox"/> こみ袋・ポリ袋	<input type="checkbox"/> ミルク	<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ
<input type="checkbox"/> 予備の電池	<input type="checkbox"/> 常備薬	<input type="checkbox"/> 簡易(携帯)トイレ	<input type="checkbox"/> スリッパ
<input type="checkbox"/> トイレ用ペーパー	<input type="checkbox"/> 紙皿・紙コップ	<input type="checkbox"/> プルーフシート	<input type="checkbox"/> ビニール手袋

■ ローリングストック法

普段の食料品を少し多めに買い置きし、消費した分を補充するローリングストック法を実践すれば、手軽に備蓄に取り組みることができます。生活用品にも応用できます。

備える

その1 普段の食料品を少し多めに買い置き(保存期間の長いものを)

その2 チェックリストを作成し、賞味期限を考えながら消費

その3 消費した分を補充

買う ローリングストック 食べる

非常持出品のチェックリスト

避難する時に持ち出す必要最小限度のものを非常持出品に入れて、玄関などのすぐに取り出せるところに保管しましょう。

貴重品	非常食	防災用品	必要に応じて用意するものなど
<input type="checkbox"/> 現金(10円玉含む)	<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 携帯電話の充電器
<input type="checkbox"/> 通帳の写し・印鑑	<input type="checkbox"/> 乾パンやクラッカー	<input type="checkbox"/> ライター、ろうそく	<input type="checkbox"/> 予備の眼鏡、補聴器など
<input type="checkbox"/> 運転免許証の写し	<input type="checkbox"/> レトルト食品、缶詰	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 簡易(携帯)トイレ
<input type="checkbox"/> 健康保険証の写し	<input type="checkbox"/> ナイフ、缶切り	<input type="checkbox"/> ヘルメット	<input type="checkbox"/> トイレ用ペーパー
<input type="checkbox"/> 印鑑	<input type="checkbox"/> はし・スプーン	<input type="checkbox"/> 苗(ホイッスル)	<input type="checkbox"/> 生理用品
<input type="checkbox"/> 医療用品	<input type="checkbox"/> 生活用品	<input type="checkbox"/> 衣類等	<input type="checkbox"/> 乳幼児用食品(粉ミルク等)
<input type="checkbox"/> 常備薬の予備	<input type="checkbox"/> ボリ袋	<input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/> おむつ(乳児、高齢者用)
<input type="checkbox"/> 救急医薬品	<input type="checkbox"/> 新聞紙	<input type="checkbox"/> 上着・下着・靴下	<input type="checkbox"/> アレルギー対策食品
<input type="checkbox"/> ばんそうこう、消毒液	<input type="checkbox"/> ティッシュペーパー	<input type="checkbox"/> レインコート・防寒衣	<input type="checkbox"/> 口腔ケア用品(歯ブラシセット・洗口液、口腔ケアティッシュ等)
<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ	<input type="checkbox"/> ラップフィルム	<input type="checkbox"/> タオル	<input type="checkbox"/> 災害発生時に必要となるものは人によって異なります。必要に応じて項目を加えたり、定期的に中身の点検を行いましょう。

わが家の保管場所

災害情報を入手しましょう(1) 防災情報・緊急情報の提供

災害に関する情報を的確に入手することは、自分の身を守る上で重要なことです。最新の情報をこまめに確認して常に状況を把握し、自らの命を守るための行動を優先して行いましょう。

■ 緊急地震速報

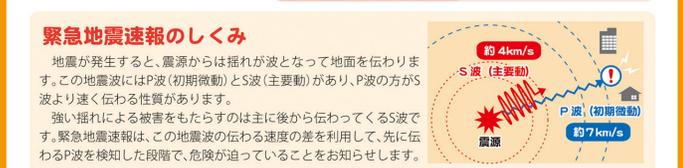
緊急地震速報は、地震発生による揺れの到達時間や震度を予想し、可能な限り素早く知らせる情報のことです。緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れがくるまでの時間は、数秒から数十秒ほどしかありません。その間に、机の下に入るなど自分の身を守ることを優先して行動しましょう。

緊急地震速報の発表

テレビ・ラジオによる放送 エリアメール・防災アプリなど

強い揺れが予測された場合に、速報画面が入り、強い揺れが起る地名などを表示します。警報音が鳴る場合もあります。

携帯電話各社による速報配信サービスなどがあります。(エリアメールについては、下部で説明しています。)



■ 防災サイレン

日進市では、避難指示等大規模災害などの危機の切迫をお知らせするため、サイレンを吹鳴するスピーカーを市内6箇所に設置しています。サイレンの鳴り方は、右の種類です。サイレン音を聞いたら、テレビやラジオなどでその内容を確認し、直ちに身を守る行動をとってください。

このQRコードはサイレン音が鳴っているときにスマートフォンで読み取れます。<おもなサイレンの鳴り方>

風水害、土砂災害等の避難指示

● 3秒の吹鳴と休止を9回繰り返す

有事に関する情報

● 14秒の吹鳴と休止を3回繰り返す

エリアメール配信内容

- ・高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保
- ・土砂災害警戒情報・緊急地震速報など

■ エリアメール

エリアメールとは、携帯電話を利用した災害時専用の情報配信の仕組みで、気象庁が配信する緊急地震速報や、国・愛知県などが配信する災害・避難情報や、避難経路の影響を受けずに受信するサービスです。設定方法や対応機種については、各社ホームページなどをご覧いただき、ご確認ください。

■ LINE市公式アカウント・にしんお知らせメール

警報・避難情報をはじめとする防災に関する情報など市からのお知らせを配信します。

LINE市公式アカウント 登録QRコード 検索ID: @nissin

にしんお知らせメール t-nissin@sg-p.jp

パソナスマートフォン用 フィーチャーフォン用

災害情報を入手しましょう(2) 風水害・土砂災害に備えよう

■ 警戒レベルと避難情報

日進市から「警戒レベル④、⑤」が発令された地域にお住いの方は、速やかに避難してください。「警戒レベル④」で高齢者等は危険な場所から避難を開始し、「警戒レベル⑤」で危険な場所から全員避難してください。

「警戒レベル」と避難行動・避難情報の関係

～「警戒レベル」で避難するタイミングをお知らせします～

警戒レベル	取るべき避難行動	避難情報等	日進市が発令
警戒レベル①	既に災害が発生・切迫している状況です。命を守るための最善の行動を取りまします。警戒レベルは、すでに安全な避難ができる命が危険な状況です。緊急安全確保の発令を待たずに避難してください。	緊急安全確保	
警戒レベル②	速やかに危険な場所から避難しましょう。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅のより安全な場所に避難しましょう。警戒レベル②は、避難指示に一本化され、これまでの避難勧告のタイミングで発令されます。	避難指示	
警戒レベル③	避難に時間を要する人に高齢の方、障がいのある方、乳幼児等とその支援者は避難しましょう。その他の人は、避難の準備を整えまします。警戒レベル③は、高齢者等以外の人も必要に応じて普段の行動を見合わせて避難の準備をしましょう。危険な場所から高齢者等避難	高齢者等避難	
警戒レベル④	避難に際し、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等	
警戒レベル⑤	災害への心構えを高めまします。	早期注意情報	

※各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表・発令されるとは限りません。

<雨の強さと降り方(1時間当たり雨量)>

雨量	強さ	降り方	危険度	
やや強い 10～20mm	強 20～30mm	強い 30～50mm	非常に強い 50～80mm	猛烈な雨 80mm以上

大雨警報発表時、現在の降雨がその地域によって災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることお知らせするために、気象庁発表の大雨警報の一種として発表するものです。愛知県の場合、1時間100mm前後の雨を観測したり、解析されたときに発表されます。

<風の強さと吹き方(平均風速)>

風速	吹き方	危険度	
やや強い 10～15m/s	強い 15～20m/s	非常に強い 20～30m/s	猛烈な風 30m/s以上

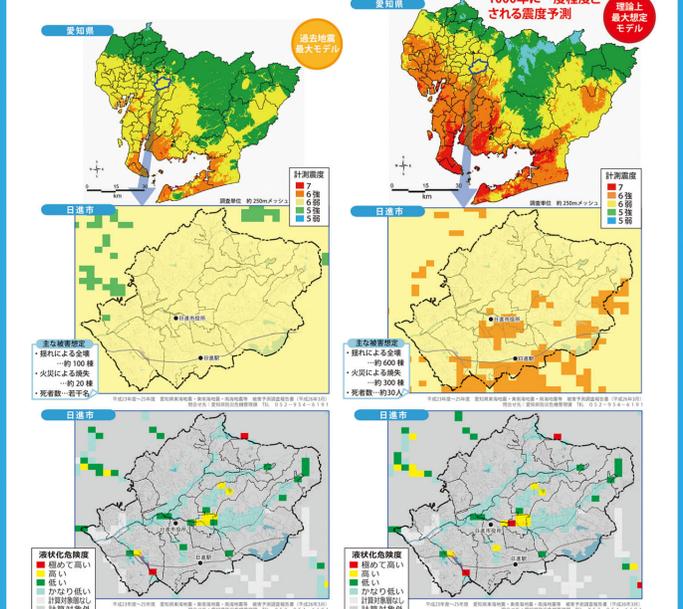
平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。風速は地形や建物の影響などによって変わりますので、その場所での風速は近くにある観測所の値と大きく異なることがあります。

<風速と揺れの状況>

風速	揺れの状況
風速が弱	多くの人が物をつかまらないうつかりと揺れ、物にぶつかると倒れる。壁にぶつかると倒れる。物が多量に落下する。
風速が5強	多くの人が物をつかまらないうつかりと揺れ、物にぶつかると倒れる。壁にぶつかると倒れる。物が多量に落下する。
風速が6弱	多くの人が物をつかまらないうつかりと揺れ、物にぶつかると倒れる。壁にぶつかると倒れる。物が多量に落下する。
風速が6強	多くの人が物をつかまらないうつかりと揺れ、物にぶつかると倒れる。壁にぶつかると倒れる。物が多量に落下する。
風速が7	多くの人が物をつかまらないうつかりと揺れ、物にぶつかると倒れる。壁にぶつかると倒れる。物が多量に落下する。

南海トラフ地震の震度予測

東日本大震災を踏まえ、愛知県は平成23～25年度に南海トラフ地震の被害予測調査を実施しました。その中で、過去に発生したことが明らかで規模の大きい宝永、安政東海、安政南海、昭和東南海、昭和南海の5地震を重ね合わせたモデルによる予測結果及び1000年に一度程度とされる震度予測を以下に示します。これらは、今後の地震対策を進める上で軸となるものです。



地震が発生したら... 地震に備えよう

地震が発生したら、まずは落ち着いて自分の身を守るために行動しましょう。自らの安全が確保できたら、隣近所のできるかぎり声をかけ合い、無事であることを確認するようにしましょう。

■ 地震発生! その時どうする?

地震が発生しても慌てずに自分の身の安全を確保し、揺れが収まるのを待ちましょう。

自動	共同
<p>地震発生! 最初の大きな揺れは約1分間、身の安全を守る</p> <p>1分～2分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・揺れが収まるのを確認 ・火が出たら初期消火 ・火の始末 ・最出口の確保 	<p>3分～10分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家の安全を確認 ・火が出たら初期消火 ・毎回のブレーカーを落とす ・火の始末を確認 ・ラジオ等情報を確認
<p>10分～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周囲の安全を確認 ・できれば隣近所で消火、救出・搬送 ・状況により避難行動を開始 	<p>10分～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所を確認 ・状況により避難行動を開始

■ 「避難が必要かどうか」を判断しよう!

避難とは「難」を「避ける」ことです。今お住まいになっているご自宅が安全な方は、避難所へ避難する必要はありません。ご自宅の方が安全と思われる場合には、ご自宅に留まる「在宅避難」をしましょう。避難が必要な場合でも必ずしも市が設置する避難所ではなく、親せき宅、友人宅、知人宅なども避難先としてとなります。あらかじめ避難先以外の安全な場所へ避難する「分散避難」についても検討しておきましょう。

■ 市内に在勤・在学中に地震が発生した場合

地震の影響による交通機関の運行停止や道路渋滞の発生が起る可能性があります。むやみに移動せず、まずは身の安全の確保や災害用伝言サービス等を利用して安否報告や確認をし、状況が落ち着いてから帰宅するようにしましょう。